

シャローム

発行日
2013年12月6日

信仰年とクリスマス

エドウィン モニス神父

「Glory to God in the highest and peace to His people on earth」 (ルカ2・14)

教皇ベネディクト16世によって2012年10月11日から始まった信仰年は、2013年11月24日の「王であるキリスト」の祭日で終わりを迎えました。

「信仰年」は、「イエス・キリストとの出会いによって信仰が活力を回復し、深い確信と現実の力」となることです。

教皇フランシスコは、「わたしたちの生活で最も辛いのは、仕事の疲れでなく、愛が無いことの疲れです」と言われ、家族・夫婦・親子の間ではほほえみや会話が、お年寄りが孤独に感じる、困難を抱えた家族がまわりの支援を受けられないなどの、愛の無い状況に注意を促されました。教皇は、キリスト教的家庭を、「祈る家庭」「信仰を守る家庭」「喜びを生きる家庭」の3つの観点から見つめられました。

「主の祈り」や「ロザリオの祈り」を皆で唱えたり、夫は妻のため、妻は夫のために、また親は子のため、子は親のために、互いのために祈り合うことは、家族の絆を強めるためにも素晴らしいことだと話されました。

信仰は、個人財産のように金庫に入れておくものではなく、証や、他の人々に心を開くことを通して分かち合い、証していくものです。信仰を伝え、分かち合う努力をしようと教皇は呼びかけています。

信仰年の歩みを振り返ってみましょう。高宮教会では「神様、あなたを信じ共にあなたへの道を歩みます」というスローガンを心に留めて共同体を通してまた個人的にも信仰を深めるために、様々

信仰を祝う

信仰を生きる

信仰を受け継ぐ

なことをしてきました。

教皇ベネディクト16世の自発教令「信仰の門」とカテキズムから「主の祈り」を学び、そして毎月第3主日ミサ後のベネディクションの時に、大切な時間をささげてきました。

去年、長崎巡礼に行き、26聖人殉教地、浦上教会、聖母の騎士修道院を訪問しました。今年は、平戸・生月巡礼に行き、焼罪殉教地、平戸切支丹資料館、山田教会、田平教会、黒瀬の辻殉教祭に参加し殉教者や禁教令時代の信徒の生き方から信仰を学びました。信仰年は私たちに、信仰の原点に戻るよう呼びかけてくれました。信仰を養うのは、「神のことば」とキリストの体である「いのちのパン」です。

日本の教会の信徒数は減少しています。私たちは自分の信仰を分かち合い、伝えましょう。特に親は日々の生活の中で子どもたちに信仰を伝えて下さい。

神様の呼びかけに応えたマリア様とヨセフ様は、イエス様を養い育てました。彼らは、イエス様を迎え入れた最初の人です。そして、貧しい羊飼いたちも、生まれたばかりの赤ちゃんを救い主として認め、喜びのうちに迎え入れました。

私たちが赤ちゃんの姿で来られるイエス様を私たちの心、私たちの家族に温かく迎えましょう。

喜びのうちに2013年の降誕祭と2014年の新年を迎えましょう。

Wish you MERRY CHRISTMAS and a PROSPEROUS NEW YEAR.

目次

信仰年とクリスマス

エドウィン モニス神父

「平戸・生月島 巡礼旅行」へ参加して

セシリア 加津子

小百合会

マリアセシリア 嘉子

カトリック女性の会

マリア 理栄

ミサ時間案内 (12月・1月)

編集後記



*信仰年
前教皇ベネディクト一六世
が発表 (2012年10月11日～
2013年11月24日)。



*教皇フランシスコ
2013年3月より現教皇



平戸・生月島 巡礼旅行 2013年11月10日(日)

*カミロ神父は禁教令でマカオへ追放され、1621(元和7)年に日本に再潜入。佐賀の不動山や唐津で活動し、翌年、平戸領内で捕えられ、田平で火刑となった宣教師。日本205福者(1867年7月7日列福)のひとりとなる。

焼罪(やいせ)公園(カミロ・コンスタンツォ神父殉教碑)



*平戸と生月の間にある中江ノ島を見下ろす黒瀬の丘にあるキリシタン・ガスパル西玄可が慶長14年に殉教した場所。

188福者(2008年11月24日列福)の一人であるガスパル西玄可(聖トマス西神父の父親)は、妻ウルスラ、長男ヨハネ(共に列福)と共に、十字架がたつ墓地「クルスの辻」で処刑を望んだという。生月の最初の殉教者(1609年11月14日に殉教)。

黒瀬の辻殉教地(ガスパル様)



*田平教会は、1886(明治19)年以降、ラゲ神父やド・ロ神父が買い取った土地に黒島、外海から移住した信徒によってはじまる。1918(大正7)年、信徒たちは、中田藤吉神父の奔走による寄付に助けられ、鉄川与助が設計・施工した最後の煉瓦造教会堂を建てた。

上の文章は、旅行のしおりより引用。オリジナルは、ながさき観光ポータルサイト「ながさき旅ネット」、平戸市観光協会及びそれぞれの公式HP。

田平教会



「平戸・生月島 巡礼旅行」へ参加して

セシリア 加津子

信仰に生きた地、平戸・生月島への巡礼旅行。今回訪れた焼罪公園・切支丹資料館・黒瀬の辻殉教地。自らの信仰のために命を失ったとみなされる死、「殉教」について考えるきっかけとなりました。

祈りを日々唱え、信仰を守り伝え、そして続けることの大事さ。殉教者は信じたことを表し、そのためにあえて死を受けました。どんなものよりも神様を選択し、信仰を表すことを恥じることもありませんでした。私たちの日々の信仰はこの殉

教者たちの上に成り立っています。私は今一度、再確認し信仰生活を大事にしたいと思いました。

最後に訪れた田平教会。こちらでは、教会の隣にある墓地を見学させていただきました。ちょうど夕日が綺麗な時間でした。光を浴びた全てのお墓からのパワーは私たちの信仰を後押ししてくれているように感じました。このような思いを感じさせてくれたこの巡礼旅行に感謝いたします。

私たちの信仰を後押ししてくれているように感じました



小百合会

マリアセシリア 嘉子

最初は日曜日のミサ後に一人暮らしのお年寄りの方々が四・五人位で、お茶を飲みながらおしゃべりをしていました。そのうちに片岡哲夫神父様が変わって下さり、旧約や新約聖書の事を話して下さり、皆で信仰の事や、楽しかった事、つらかった事など話して楽しいひとときをすごして今にいたっています。

もう十年位も続いています。年に一度は敬老会の日に教会の食事会におまねきいただき、皆様といっしょに楽しいひとときを過ごさせていただいています。

現在は第四日曜日のミサ後に一時間位集まっています。

第四日曜日のミサ後に皆様といっしょに楽しいひとときを



久しぶりに片岡神父様を囲んで
(2013年6月9日)

敬老の日の食事会
(2013年9月15日)



先輩方のパワー に驚くばかり

*「博多へきんしゃい」
(2013年年7月25日～7
月28日)
原発被害にあわれた
30人の方を博多に招
待

2013年スローガン

「神様 あなたを信じ
共にあなたへの道を
歩みます」

カトリック高宮教会

〒815-0083
福岡市南区高宮
4丁目10-34

電話: 092-531-6494
FAX: 092-526-0632

www.takamiya.catholic.ne.jp/

カトリック女性の会

マリア 理栄

私は、今年からカトリック女性の会に所属しています。いろんな奉仕活動を目的として月に一度定例会で話し合いをし計画を立てて実行していくのですが、先輩方のパワーと行動力には、驚くばかりです。

心に残っているのが原発被害にあわれた30人の方を博多に招待したときの事です。

それにかかる膨大な時間と費用を粉骨砕身寝る間も惜しんで働く先輩たちの姿を見たとき自分のことしか考えていなかった私は、本当に感動しました。専業主婦ということもあり表に出ることが少なかった私が、こういう方と知り合いになれたことは、大きな喜びであり誇りです。



★ミサ時間ご案内★

12月24日(火)	19:00	主の降誕	夜半のミサ
12月25日(水)	10:00	降誕祭	日中のミサ
12月31日(火)	6:30	年末のミサ	
1月1日(水)	11:00	神の母聖マリア	(新年ミサ)

編集後記

新生シャロームになり、写真を多用するようにしています。それぞれの方に、了承をいただくことなく、掲載していますこと、ご理解ください。

次号に向けて、参加していらっしゃる活動・講座等の投稿、お待ちしております。